

学校訪問のはなし

学校の年間行事の中に、「学校訪問」というものがある。教育委員会主導の行事で、4年間をローテーションとして全公立小・中学校を訪問し、各学校の教育課程や学校運営、施設管理等について視察し、指導・助言を行う行事である。

学校訪問には、「合同訪問」「計画訪問」「所長訪問」「校長室訪問」の4つの種類があり、それぞれ内容や教育委員会の来校者も異なります。各学校は、この4つの学校訪問を毎年1つずつ受け入れ、4年後に同じ訪問が回ってくるというしくみです。
ではその1つ1つについて、ふれてみましょう。

1 合同訪問

- ・市教委と県教委（教育事務所の指導室）が合同で訪問します。
- ・全教員が指導案を作成し、授業展開をします。

(1) 学校の日程

午前中 ; 朝清掃
1 時間目 (通常授業)
2 時間目 (授業展開 1) * 1
3 時間目 (授業展開 2)
学活、給食後、児童生徒は下校
午後 ; 授業に関する分科会、全体会で終了。

(2) 訪問者の日程

午前中 ; 9:00過ぎに来校
経営説明 (30分) * 2
授業展開 1 (参観) / 諸表簿の点検 * 3
授業展開 2 (参観) / 諸表簿の点検
昼食・指導会議 * 4
午後 ; 経営部会 (90分) * 5
分科会 (90分) * 6
全体会 (30分) * 7

- * 1 授業展開とは、全教科、特別の教科 道徳、特活、総合及び特別支援の授業を展開します。
- * 2 経営説明とは、学校の校長始め教務部の教職員が、訪問者全員に対して、学校経営の方針や重点、教育課程、生徒指導、校内研修等について資料を基に説明（プレゼン）をすることです。
- * 3 諸表簿の点検とは、学校日誌や学校沿革誌、安全点検簿、出席簿、指導要録、出勤簿、サービス整理簿、職員会議録、薬品管理簿、健康診断表、学校保健日誌等、学校保管の公簿について、管理課の管理主事が点検を行うことです。授業展開の裏で2時間かけて行います。
- * 4 指導会議とは、来校者の内部会議で、各教科の授業を参観した各指導主事が、授業の感想や、優れた取り組み、課題などについて報告する会議です。

- * 5 経営部会とは、校長・教頭・教務主任・養護教諭が、指導室長や教育長始め教育委員会の幹部職員に対して、学校の課題、施設管理、不登校、生徒指導上の課題、保健関係や肥満対策等について資料を基に説明し、訪問者から質問・指導を受ける会議です。
- * 6 分科会とは、各教科ごとの部屋で、授業を展開した教員と、指導主事等の講師が、個別に本日の授業について振り返り、教科の課題等についても協議し、指導・助言をもらう会議です。
- * 7 全体会とは、全教職員と全訪問者が集合し、訪問者代表の挨拶で始まり、担当職員から県の施策や本日の授業についての全体講評をもらう等の内容で締めくくります。

(3) 訪問者一覧

合同訪問なので、県教委（教育事務所の指導室）と市教委が訪問します。

- ① 県教委（指導室長、社会教育主事、指導主事等）14名ほど。
- ② 市教委（教育長、学校教育部長、次長、指導課長、教育セ所長、指導主事教科指導員、管理主事等）19名ほど。

👤 この日は県の指導室も市の指導課も終日空っぽになり、留守番の職員が数名いるのみとなります。

(4) 訪問者の役割分担

大人数の訪問者ですが、それぞれ役割分担があります。

- ① 全部の授業を見て回る。… 指導室長、教育長、部長、次長、指導課長
- ② 1人の授業を最初から最後まで見る。… 教科担当指導主事、教科指導員
- ③ 諸表簿点検 … 管理主事
- ④ 施設管理を中心に自由に見て回る … 次長、主任管理主事

(5) 学校の役割分担

- ① 授業者 … 指導案を元に授業展開をする。2時間で全教師が展開する。
- ② 校長 … 指導室長、教育長等7～8人を案内し、全授業を見て回る。
- ③ 教頭 … タイムスケジュールのとおり、校長と連携を取って合図を送る。
- ④ 教務主任 … 1～2分先行し、教室環境等に留意。廊下等のごみを拾い、教室のドアを開けておく。俗に言う露払い。

👤 中規模校になると、1度に10クラス以上が授業を同時展開するので、全部見て回るにはタイムスケジュールを組む必要があります。そうすると移動時間も含めて1クラス3～4分しかないこととなります。教室に入って一瞬で授業の雰囲気把握する必要があります。見る観点は、教師の所作、児童生徒の姿勢、板書、学級掲示等。特にその年に入った初任者の授業は、念入りで見られることとなります。またグラウンドで授業展開もあるわけで、参観者が履く靴（サンダル）も用意しなければなりません。校長が7～8人を案内して回る、しかも歩くにも順位制がある様は、さながら某番組の院長回診というところか。

- なぜ合同訪問というのか？ なぜ県教委（指導室）訪問とは言わないのか？ については、法的には、県教委は市教委を指導・監督する立場にあり、市教委は小中学校を指導・監督する立場にあるため、県教委は直接（市立の）小中学校を指導・監督することはできないことになっています。しかし、市教委が県教委に訪問を依頼したという形にすれば、県教委の小中学校への訪問が可能となるのです。したがって、市教委と県教委が合同で訪問するので、合同訪問とよばれるのです。

2 計画訪問

- ・市教委のみが訪問します。（県教委は来ません）
- ・全教員が指導案を作成し、授業展開をします。
- ・内容は合同訪問とほぼ同じである。

(1) 学校の日程

午前中 ; 朝清掃
1 時間目 (通常授業)
2 時間目 (授業展開 1)
3 時間目 (授業展開 2)
学活、給食後、児童生徒は下校
午後 ; 授業に関する分科会、全体会で終了。

(2) 訪問者の日程

午前中 ; 9:00過ぎに来校
経営説明 (30分)
授業展開 1 (参観) / 諸表簿の点検
授業展開 2 (参観) / 諸表簿の点検
昼食・指導会議
午後 ; 経営部会 (50分)
分科会 (60分)
全体会 (50分)

3 所長訪問

- ・県の教育事務所の所長以下総務課、管理課の数名及び市教委の学校教育部長以下学校教育課の数名が訪問します。
- ・授業展開はするが、指導案はいらない。
- ・授業は1人2～3分視察。
- ・表簿点検、人事面及び学校の管理運営についてが中心。
- ・半日で終了します。

(1) 学校の日程

午後 ; 昼清掃
授業展開 1
授業展開 2
児童生徒は下校
全体会で終了。

(2) 訪問者の日程

午後 ; 13:00頃に来校
経営説明 (25分) *1
授業訪問1 *2 / 諸表簿の点検
授業訪問2 / 諸表簿の点検
全体指導 (40分) *3

- *1 経営説明とは、学校の校長始め教務部の教職員が、訪問者全員に対して、学校の経営概要、加配教員の状況、休暇者の状況、施設設備、地域との連携、教育課程、生徒指導等について説明し、質問等を受ける。
- *2 授業訪問とは、校長が先導して所長等を案内し、各教室の授業を訪問する。
- *3 全体指導とは、全教職員と全訪問者が集合し、訪問者代表の挨拶で始まり、担当職員から、諸表簿点検の結果や学校経営の諸問題、安全管理、不祥事防止等の指導・助言で締めくくります。

(3) 訪問者一覧

- ① 県教育事務所（所長、総務課長、管理課長、管理主事等） 5名ほど
- ② 市教委（学校教育部長、次長、学校教育課長、管理主事等） 5名ほど

👤 一般の教職員は、平常の授業をするだけで、指導案等も用意する必要が無いので楽ではあるが、管理職や教務部、県事務にとっては、事前に提出する書類や受け入れ準備があり、大変である。管理課中心で、人事面やサービス、法定表簿点検等を職務とする課なので、授業については、端的に言えば、人を見に来るとも言える。

4 校長室訪問

- ・市教委の教育長以下、部長、次長、課長等約5名が訪問します。
- ・授業展開はするが、指導案はいない。
- ・授業は1人2～3分視察。
- ・学校経営及び諸問題についてが中心。
- ・全体指導は無く、午前又は午後の半日で終了します。

(1) 訪問者の日程

午前 ; 9:00頃に来校
経営概要説明 (25分)
教室訪問 (授業展開)
経営部会 (30分)
11:00過ぎに終了

👤 かつて合同訪問や計画訪問、所長訪問はあったが、何も訪問が無い年がありました。そこで校長室訪問を作って、4年間のつじつまを合わせたと聞いています。

5 その他・課題別学校訪問

- ・県の教育事務所（指導室）の担当者が来校します。
- ・生徒指導と特別支援教育の2つのテーマ（課題）に絞り、各学校での取り組みについて、校長や担当教諭と協議します。
- ・上記の計画訪問を行う年度と同じ年度に行うため、セットになっています。
- ・日程は、午前又は午後に来校し、該当する学級の授業を参観し、その後課題等について協議となります。

6 どのような準備があるのか

訪問を受け入れる側としては、市教委の担当者と調整をしながら、2ヶ月ぐらい前から準備に取りかかり、職員会議を経て、段取りを整えます。訪問当日は、流れがスムーズになるように教職員の役割分担をし、失礼の無いように準備をして迎えます。では具体的にどんな準備があるのでしょうか。時系列で追ってみましょう。

(1) 2ヶ月前

- ・職員会議で提案（一日の流れ、授業展開学級、訪問者、諸準備、役割分担等）
- ・授業者は、指導案検討開始

(2) 1ヶ月前

- ・職員会議で提案（タイムスケジュール等、詳細の確定版）
- ・授業者は、指導主事と指導案の事前検討会
- ・経営概要説明資料準備、プレゼン資料作成（校長、教頭、教務部）

(3) 2週間前

- ・市教委へ提出物（学校訪問計画書 24部）
- ・指導案完成、印刷して製本

(4) 1週間前

- ・弁当注文（来校者分）
- ・市教委へ提出物（学校訪問計画書 24部）

	市教委提出部数	備考
学校要覧	24部	
教育計画	24部	
経営部会資料	10部	
指導案本冊	10部	訪問者一覧、校舎配置図、 授業展開者一覧をつける
指導案分冊	教科等の指導者数分	

*一人ひとり封筒へ入れて一括して持参（教頭）

(5) 前日

- ・大掃除（全教室）
- ・表示（訪問者名札、靴箱記名、教室表示（展開1・2）、控室、分科会、駐車場）、
- ・全体会会場準備（全体会次第、スクリーン、座席配置）
- ・校長室準備（バインダー、花）
- ・経営概要説明のプレゼンのリハ（校長、教頭、教務主任、生徒指導、研究主任）

- ・諸表簿の準備

学校日誌	学校沿革誌	安全点検簿	プール日誌	… (教頭)
出席簿	指導要録	転出入記録簿		… (生徒指導)
出勤簿	服務整理簿	研修承認簿	旅行命令簿	
宿泊行事の勤務時間割振り変更簿	給食費徴収台帳			… (県事務)
職員会議録	薬品管理簿	(週案)		… (教務主任)
健康診断表	学校保健日誌	学校医等執務記録		… (養護教諭)

(6) 当日

- ・駐車場案内
- ・湯茶接待 (校長室と来校者控え室)
- ・弁当用意、みそ汁 (22人分)
- ・分科会記録、年間指導計画
- ・講師を教室まで案内 (各教科で)
- ・グラウンド用サンダル用意 (8足)

7 改善に向けた提言

教育委員会にとっては、「学校訪問」は職務の中でも大きなウェイトを持った行事であり、事前の学校提出資料の読み込みや指導案検討などの準備は大変なものがある。

学校にとっては、学校訪問による指導・助言は、授業力向上に大変役に立っているが、訪問のための受け入れ準備や、事前配付資料づくり、事前の指導案検討会はもとより、授業後の協議会等もあり、大きな負担となっています。

学校現場が疲弊しないために、どこを変えたら良いのか、現場の声として提案します。

(1) 来校者の厳選


- ・学校教育部長が来るのなら、次長は不要。(次長は市教委を守る)
- ・教育総務部長や生涯学習部長、参事、主幹は不要。(出番が無い)

(2) 事前提出物の削減

- ・教育計画は全員分は不要。(経営部会の人数分で良い)
- ・指導案本冊は最小限に。(全部に目を通すのは指導課長ぐらい。他は不要)

(3) 当日不要なもの

- ・下駄箱の名札は、役職のみで良い (個人名はいらない)
- ・校長室や控え室に花は不要、(華美に飾る必要は無い)
- ・バインダーやボールペンは不要。(自分で持ってくれば良い)
- ・講師の教室までの案内役はいらない (自分で行けば良い)
- ・弁当は豪華で無くて良い。(給食相当の値段でいいのでは)
- ・年間指導計画は不要。(用意しても実際は使っていない)

 一度定着した行事や慣例は、現場が変えようと思っても、なかなか変わらない。出る杭は打たれるものです。訪問側のトップが「止めよう」と言えば変わります。

かつて、訪問者の弁当代は、学校側が負担していました。あるとき指導室長が、自分たちが食べるものは自分たちで負担しようと、弁当代を指導主事から集めて学校に渡しました。そこからです、県がやるならと市教委も同様に集金し始め、現在のようになりました。トップが「変えよう!」と言えば変わります。